



講師：うめなが ゆうじ 先生

早稲田大学教育・総合科学学術院 教授
TEACCH®上級コンサルタント

1955年、福岡県生まれ。慶應義塾大学、筑波大学大学院 卒業、明星大学人文学部助教授、宇都宮大学教育学部教授などを経て、2015年より現職。
日本LD学会常任理事、日本自閉症スペクトラム学会理事、日本発達障害学会理事 などを務められ、発達障害者の就労支援分野では日本の第一人者。

主な著書

「発達障害のある人の就労支援」

「自閉症スペクトラムの子を育てる 家族への理解」

ほか多数

日時:11月6日(土)13:00~16:00
(小休憩を含む)

会場:オンライン(ZOOM)開催

ハワイから生中継!!!

自閉症支援 はじめの**いっ**歩 ~今、わたしたちは何をすべきか~



講演概要

自閉症児・者の支援にあたる際、最も大切にしなければならないことは何でしょうか？

全員一律の指導や、マニュアル通りの療育・教育でできるだけ自閉症児・者の支援は楽ではありません。一人にうまくいった療育が、隣の子にはマイナスになってしまうことすらあります。

そこで、今回はハワイ大学マノア校で特別支援教育や職業リハビリテーションについて在外研究を行われている、早稲田大学教授の梅永雄二先生を講師にお招きして、自閉症児・者へ保護者や関係者がどのように支援を始めればいいのか、そのはじめの一歩についてお話いただきます。

梅永先生より

自閉症児者支援については、保護者、教師、福祉施設職員、就労支援者等、その支援する側によって中身は異なるものと思われます。ただ、どの立場でも共通するのは、支援の対象となる自閉症児者の特性を知らないとかどのような支援が適切なのかはわからないということでしょう。

この自閉症児者のことをよく知る、理解する上で必要となるのがアセスメントです。

アセスメントというと、知能検査のような心理検査をイメージする人が多いと思いますが、実は子育てや学校教育などで日々行っている行動観察はもっともすぐれたアセスメントの一つなのです。本講演では、自閉症児者に関わるはじめの一歩としてのアセスメントについて、わかりやすく説明したいと思います。

主催 NPO法人岡山県自閉症児を育てる会
〒709-0826 岡山県赤磐市和田 194-1
Tel.:086-955-6758 Fax.:086-955-6748
メール:acz60070@syd.odn.ne.jp



後援

岡山県教育委員会・岡山市教育委員会
赤磐市教育委員会・倉敷市教育委員会
山陽新聞社